

56—3・4次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和56年4月

NO. 1

農 林 水 産 部 門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.7
3E
56-2

15111



56年度第3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

No.1

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
101 稲 作	1	フィリピン	有	1	133 飼料作物 135 獣医師	1	マラウイ	有	48
	1	フィリピン	有	2		1	ザンビア	有	49
	1	フィリピン	有	3		1	ガンー	有	50
	1	バングラデシュ	有	4		1	タンザニア	有	51
	1	バングラデシュ	有	5		2	ザンビア	有	52
	3	バングラデシュ	有	6		1	セネガル	有	53
	6	ケニア	有	7		1	タンザニア	有	54
	1	タンザニア	有	8		1	ホンジュラス	有	55
	1	セネガル	有	9		1	ネパール	有	56
	1	タ	有	10		1	ネパール	有	57
102 食用作物	1	P.ニューギニア	有	10	160 森林経営	1	ケニア	有	58
103 園芸作物 10302 野菜	1	フィリピン	有	11		1	マレイシア	有	59
	1	フィリピン	有	12		1	タンザニア	有	60
	1	フィリピン	有	13		1	マラウイ	有	61
	2	マレイシア	有	14		1	ホンジュラス	有	62
	4	マレイシア	有	15		2	マラウイ	有	63
	1	バングラデシュ	有	16		1	フィリピン	有	64
	1	バングラデシュ	有	17		1	フィリピン	有	65
	3	バングラデシュ	有	18		1	フィリピン	有	66
	3	ケニア	有	19		1	フィリピン	有	67
	1	ザンビア	有	20	1	バングラデシュ	有	68	
1	コスタリカ	有	21	1	シリ	有	69		
1	ホンジュラス	有	22	1	ゼネガル	有	70		
1	西サモア	有	23	1	トンガン	有	71		
1	西サモア	有	24	1	フィリピン	有	72		
1	西サモア	有	25	1	フィリピン	有	73		
10303 果 樹	1	バングラデシュ	有	26	1	バングラデシュ	有	74	
105 き の こ	4	ネパール	有	27	1	ネパール	有		
	1	ネパール	有	28	1	シリ	有		
115 土 壌 肥 料	1	タンザニア	有	29	1	シリ	有		
	1	ホンジュラス	有	30	1	マラウイ	有		
120 農 業 土 木	1	パラグアイ	有	31	1	ザン	有		
	2	マレイシア	有	32					
	1	ネパール	有	33					
	4	ネパール	有	34					
121 農 業 機 械	1	エチオピア	有	35					
	1	マレイシア	有	36					
	1	タ	有	37					
	4	バングラデシュ	有	38					
	1	タンザニア	有	39					
130 病 虫 害 育	1	ザンビア	有	40					
	1	ホンジュラス	有	41					
131 家 畜 飼 育	1	P.ニューギニア	有	42					
	1	フィリピン	有	43					
	1	フィリピン	有	44					
	1	フィリピン	有	45					
	1	フィリピン	有	46					
	1	タンザニア	有	47					
	1	セネガル	有	48					
13105 養 蜂	1	コスタリカ	有	49					
132 養 鶏	1	パラグアイ	有	50					
	1	バングラデシュ	有	51					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 10日

101 稲

作

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Storage Quality Control	(女) 人	派遣予定 56年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
米穀品質管理技術			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Agricultural Credit Administration (ACA)*
 (日本語): 農業信用機構

□. 隊員勤務先名称: *Compact Farms clusters* 日本語名称 ()
 所在地: *Baliwag Bulacan* 主要都市からの距離 (マニラより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *Compact Farm* の生産量を米を玄米で貯蔵する為の倉庫建設
 市場の動向により米を玄米にする *Rice Mill complex* を建設する
Complex の規模により、この最終決定を行うこととしている。

ニ. 設備概要: *Rice Mill complex* には、必要設備機械を設置するに
 している。詳細は別紙(英文)参照

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: *ACA* の属する技術者
 技術の範囲: 米の品質管理に関する全般的知識
 業務の形態: *Rice Mill complex* 内の技術者に付する技術指導
 及び監督。

対象者及びカウンターパートの技術水準: 号丁及び年令
 ; 具体的な counterparts は今後の決定によるが、適格者
 を得た際の技術指導を依頼している。

現地の利用可能な機械: *Rice Mill complex* には、必要設備
 あり必要設備資機材は整っている。

職場に在りて働く日本人及び日米間内容の配置状況
 ; フィリピン人の *Volunteer* が全体の計画立案者として参画
 予定

使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンには、米の生産と順調に海外輸出が可能と
 なっている。その一方で、*Compact Farm* には *ACA* の生産指導が
 ある。今後の課題は、いかに有利に市場へ出せるかである。そのための試みとして
Rice Mill complex を建設し、玄米にする貯蔵をしようとしている。日本に在りて米の
 貯蔵方法を高く評価して、隊員に付する期待を込める。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

当該分野に在りて 経験 2 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 18日

101 稲 作

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Government and Community Development
(日本語): 自治開発省 (M.L.G.C.D.)
- ロ. 隊員勤務先名称: MLGCD Provincial Development Office (日本語名称: 自治開発省地方自治体開発課)
所在地: TABUK, KALINGA-APAYAD (主要都市からの距離: 約70キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: MLGCD 下地域社会の開發を担当し、中央政府と地方自治体の調整を行ない、地域社会の開發促進を成す。技術者として、中央・地方自治体の技術者が大々活躍する。
- ニ. 設備概要: 本農場には、研修旅行に必要設備は十分である。

(2) 隊員の業務内容

- 隊員の任務は普及活動と MLGCD-Provincial Government Office - Ministry of Agriculture (BAEX, BPI 等) - J.O.C.V. の共同プロジェクトとして、農場(農業学校)の管理、運営である。農場における実務的なものは当地における優良品種の普及、研修旅行の企画、試験栽培調査である。
- ① 隊員の業務上の地位: 稲作普及指導員
- ② 技術の範囲: 稲作全般に及ぶ。特に本農場においては、稲作、当地の道、稲作試験、研究等。
- ③ 業務の形態: 一般農家の普及活動及び本農場における技術者(普及員、BPI)としての技術指導。
- ④ 対象者の年齢・性別・学歴: 普及活動は対象一般農家の地味に比較して、稲作指導部門では BAEX の下にある。稲作技術部門では、知識が豊富で実践的困難が多い。3/4。
- ⑤ 現地利用設備: 大型トラクター、耕運機、スプレー、木場、ポンプ、稲刈り機、試験設備等。
- ⑥ 母国人数: 2人
- ⑦ 使用言語: 英語、ヒルガナ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 長官川一木隊員(54/4次 稲作)の反響を待。KALINGA-APAYAD 本農場の稲作は、当地の稲作振興が期待されている。その他、当地の農民の期待も大きい。やり方はある程度ある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 本農場は、稲作を主として行っており、農業技術者として受入希望。3/4以上は、稲作以上の実務経験が必要である。(最低2年) 可能であれば、農業改良普及員の資格を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

Shunbo

記入昭和 56年 4月 2日

101 稲 作

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Mayor, San Andres, Romblon (Tablas)
(日本語): グラニドリス町庁

ロ. 隊員勤務先名称: Juncarlo Farms 日本語名称 (ジニカルロ農場)
所在地: Juncarlo Heights, San Andres, Romblon 主要都市からの距離 グラニより 54キロ

ハ. 事業規模及び内容: グラニの Mr. GANAN の個人農場であるが、地域農民の
ために、この農場内に グラニドリス 農民訓練センターを設立し、地域農民の技
術的向上を図ろうとする。

ニ. 設備概要: 簡単な農機具、トラクター、単車、ガスエンジン、ディーゼルエンジン。
農民訓練センターは3教室のみの1棟が完成している。

(2) 隊員の業務内容: この農場は面積約 50ha を有し、海拔 450m 以上に位置し、
全体として起伏に豊か。乾季にも水が枯れることはなく、稲作に用いる。現在
小規模であるが、トラクターや水田や IR36 などを栽培している。

1. 隊員の業務上の地位: ジニカルロ プライベート
2. 技術的範囲: 稲作 及び 他人食用作物栽培。更に農場のインフラの一部も行う。
3. 業務の形態: 農民訓練センターは、農民、協賛者を含めた実務的栽培活動 Rm. センターに中心となる。
4. 対象者は心から? - 100%
対象者は地域農民。協賛者は現地作業員及び農業省の技術者。
5. 現地で利用する機械: 簡単な農機具のみ。
6. 第三国人の配置: なし。
7. 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規参入
協力隊員による地域農民の技術的向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
1. 農業高校卒業以上で実務経験が必須と見られる。
2. 可能であれば農業省の人物が望ましい。
3. 土地に関する知識があると望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

101 稲 作

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 101 稲作	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)
(日本語): 農業者農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Daulatpur Agriculture Extension Training Institute
日本語名称 (ドゥラトプル農業普及養成所)
所在地: Institute 主要都市からの距離 (ダッカより 125 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業普及員を養成する政府機関。敷地総面積は 120 エーカー。実習農場 80 エーカー。校長以下教官 10 人。生徒現在 120 人。世帯援助による校舎等建設中。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、寄宿舎、職員住宅、ワット、プール等の他に農場用トラクター、耕耘機、深井戸ポンプ、農具がある。

(2) 隊員の業務内容: 農業改良普及員養成機関で、農学 I、農学 II 作物保護、農業機械、農業普及、園芸、畜産の 7 教程の授業を行なっているが、その中で隊員は農学 II も担当し、実習を中心に指導にあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: 稲作栽培全般にわたって日本の農業高校で指導可能な程度の技術および栽培試験が可能になること。

3) 業務の形態: 実習の技術指導が中心。ペーパーワークも併せて栽培管理をさせる。

4) 対象者およびカウンターパート: 生徒は 10 学年卒、入学時 18~20 歳であるが、農業知識、経験は少ない。カウンターパートは大学だが、技術水準は理論に強いが実務面に弱い。

5) 現地で利用できる機械: 上記設備の他にマイクロバス。

6) 取場における他の外国人等: 勤務先には協力隊農業機械および里業隊員

7) 使用する言語: 生徒および農民とは全てベンガル語。校長、教官とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ドラウトプル VAETI にはバングラ協力隊はこれまで以来 (昭和 48 年 8 月) 隊員が継続して派遣されている。隊員は 4 代目となり、AETI 内における実際的に多くの模範となることを期待され、4 AETI に継続派遣されている。現場校長には無理解な者もいるが、農業局長以下中央の期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大卒以上 農学部系

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 12日

101 稲 作

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 56年4月
	(日本語) 稲 作	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年8月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)
(日本語): 農林省農業普及管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Sherpur Agriculture Extension Training Institute
日本語名称 (シエラレオネ農業普及養成所)
所在地: Institute P.O. Sherpur, Dist: Mymensingh (首都からの距離 (ダッカ) 200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員養成機関。現在1年2年生合わせで約150名の生徒がいる。敷地面積30エーカーで、その3/4が圃場で主に実習用に利用されている。

ニ. 設備概要: 事務所、教室、生徒宿舎、職員住宅等世銀援助でほぼ完成。他に耕耘機、深井戸ポンプ、付揚程ポンプ

(2) 隊員の業務内容: 農業改良普及員養成機関で農学I 農学II 作物保護 農業機械、農業普及 園芸、畜産の7教科の授業を行っているが、その中で隊員は農学IIも担当し、実習を中心とした指導にあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: 稲作全般のほか、土壌試験、肥料の適応性、土壌改良、作物輪作、小規模かんがいによる水管理の技術指導にあたる。

3) 業務の形態: 実習の技術指導が中心。慣れれば教室での講義も行う。

4) 対象者およびカンファート: 生徒は10学年卒、18~20歳程度であるが、農作業、栽培実務経験はほとんどない。カンファートは農学部系大卒であるが、実際の知識は乏しい。

5) 現地に利用できる機械: 上記設備のほか、世銀からのトラクター等。

6) 取場における外国人等: 同じ勤務先にはJICA野際農業機械隊員

7) 使用する言語: 生徒とは全2バングラ語、校長、教官等とは英語も必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: シエラレオネ AETI には昭和49年10月以来隊員が派遣されており、4代目となる。普及員が実際に体を動かす実務に強い人物になるよう隊員が指導することに期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

101 稲 作

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agronomy	(男) 3人	訓練開始 56年10月
	(日本語) 101 稲作	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年2月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)

(日本語): 農林省農業管理局

2. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (農業普及員養成所)

所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。現在全国12ヶ所が完成しており、内4ヶ所に隊員が配属されている。

4. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、トラクター等整備されている。

(2) 隊員の業務内容: 現在は2年制 (近く3年制移行予定) の農業普及員養成所で、農学I, II等8教科あり、隊員は主に稲作を担当し、実習指導にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官

2. 技術の範囲: 稲作栽培が可能なこと。担当する農学IIは必ずしも稲作のみではないが、場所によっては野菜隊員と共同にこれにあたる。

3. 業務の形態: 圃場による実習指導を主とし、語学の不自由がなければ教室での講義、試験監督等にあたる。

4. 対象者およびカウチャーパート: 生徒は18~20歳で初めて農業を学ぶ。カウチャーパートは教官2名か大卒3年位が多く、理論に詳しいが実務経験に乏しい。

5. 現地で利用できる機材: 上記設備

6. 取場における外国人等: JOCV隊員野菜、農業機材が他AETIに多い。

7. 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語、校長、教官等は英語も必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和48年10月以来5代に渡り4ヶ所に配置されていたが、概ね5年計画に基づき新設により各AETI配置に欲しい旨の要請となつたものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 9 日

101 稲 作

調査者氏名 豊海 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 6 人	訓練開始 56 年 4 月
	RICE CULTURE		派遣予定 56 年 8・10 月
	(日本語)	稲作	(どちらでも可) 人

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE

(日本語): 農業者

ロ. 隊員勤務先名称: DISTRICT AGRICULTURAL OFFICE 日本語名称 (県農業事務所)

所在地: 各県の主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 県内の農業を主管する事務所であるが規模は中・小都市の農業課程度のものと看做す(含む).

ニ. 設備概要: 事務所と附属する試験場がある場合もある.

(2) 隊員の業務内容:

自然洪水域・沼沢地等に対する稲作の導入を指導したり、農業事務所を基盤として稲作技術と農民に普及する。

1. 業務上の地位: DISTRICT RICE PRODUCTION OFFICER

2. 技術の範囲: 米栽培全般 及び他の作物についての知識も望ましい。

3. 業務の形態: 普及活動・展示栽培のほか計画立案・結果報告等の事務処理を含む

4. 対話の相手: 米作農民のほかカウンターパート的存在としてケニア人農業者技術員等と接する。

5. 利用できる機械: 乏しい。

6. 対人関係: オランダ人青年隊員等と共に活動する場合もある。

7. 言葉: 事務所内においては英語。しかし農民と接する際、スワヒリ語その他部族語の必要性が痛感され、従来の隊員は努力してこれらの言語習得に努んでいる。

8. 交替の形態: 4名全員交替要員である。即ち下記の交替となる。

- 田村 隆志 (53. 1. 前)
- 大原 克之 (53. 1. 前)
- 豊海 安樹 (53. 1. 後)
- 築瀬 幸雄 (53. 2. 前)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアの第4次5ヶ年計画では農業と教育の振興に特に重点がおかれており、中でも新からの米不足もあり稲作の発展への努力が傾注されている。このような状況下、技術的指導者として我が協力隊員に対する期待は甚大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- (短大又は大卒(稲作専攻) 農業改良普及員資格保持者が望ましい)
- (運転運転免許) アフリカの農村部で生活できる身心堅固なものを。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和55年3月20日

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タニカニ	(現地公用語) RICE PRODUCTION	(男) 1 人	訓練開始 55年10月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 56年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Agricultural and Food Corporation
 (日本語): 農業食糧公社

ロ. 隊員勤務先名称: MBARALI Rice Farm 日本語名称 (ムバラリ) 稲作農場
 所在地: MBARALI 主要都市からの距離 (ムバより) 56キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1959年FAOの協力で計画され開設されたパイロットファームである。大規模な灌漑設備を有し、9月農産物の20%と生産している。作付内容は稲作2300ha、大豆500ha、トウモロコシ160ha、レトセンズ12ha (1979年)。事務所、宿舎などもあり、現在365人の。

ニ. 設備概要: 現地人スタッフが働いている。ほか大型のライスミルがあり、米、麦、小麦、中目穀などのトウモロコシ、ライスハーベスターの農業機械が揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 現在主として4商種 (IRB, IR579, KILOMBERO, SURINAMS K2242) が作付けされている。他に日本種 (コシジロ、ニホンバネ、インカリ、フジノリ、トヨニシ、トクサツセ) の栽培試験中である。

- 隊員の業務は寒冷期 (5月~9月) における日本種の試験栽培を中心に行うほか、稲作全般 (播種、除草、施肥、水利、収穫等) の管理、調整を行う。
- 現在同農場は3ユニットに別れ、各ユニットにはタニカニ人の4人がおり、そのうちの1人 MR. CHARLES MALLISA は1978年に10ヶ月間 JICA の内定を2年以内において研修を受けており、隊員は同4人と協力して業務を行うことになっている。
- 同農場には現在中国人30名 (1969年から中国の援助が開始された。30名中通訳1名、稲作専門家4名が含まれている) と白人1名 (会計士) センテール人 (大工) が活躍している。
- 使用言語は業務上現地人との係わりが強いのでスワヒリ語が望ましい。
- 機材については一通揃っているため赴任時の携行は必要ない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

先般日本政府から無償で日本米が供与されたが優秀な日本米に感動した農業大臣が日本の稲作技術と是非普及したいと要請して来たものである。また現場では昨年より日本種の試験栽培が行われているが、技術より不足から必要十分な稲作技術がまだないため協力隊員に寄せる期待も大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒 (農学部) の稲作の実務経験2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 15 日

102 食用作物

調査者氏名 坂牧 嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語) Seed Production	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 種子生産(食用作物)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agricultural Extension, Ministry of Agriculture and Cooperatives
(日本語): 農業おおい協同組合, 農業普及局

ロ. 隊員勤務先名称: Seed Center No.5 日本語名称 (種子センター No.5)
所在地: No.5 Praduttabakt, Tumbelkhoktum 生栗都市からの距離 (約 130km)
Kaphusi Province

ハ. 事業規模及び内容: コーン種子生産は 農業普及局種子部の所管に在る「コーン開発計画」の一環である。この計画は コーン(とうもろこし)の生産と土壌改良の計画地域の農家に配付する改良種子を生産することにあり

ニ. 設備概要: 日本政府が技術協力パートナーとして積極的に援助している

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 技術監督官 (Technical Supervisor)
- ② 技術の範囲: とうもろこしの種子生産 品種改良に関する各種試験
- ③ 業務の形態: 同センター内の 取品倉庫に在り、毎日の試験栽培、研究・記録と処理等の業務を通じて 外人カウンセラーとしてある技術者に技術的指導をする。
- ④ カウンセラー: 農学士の資格を有するカウンセラー二人。
- ⑤ 利用する機械: おおい同センターの資材におおし調達している。
- ⑥ 協力国の配置: 不明 (日本の技術協力プログラムに在るに 邦国人はいない)
- ⑦ 使用する言語: (タイ語) 英語を要訓練 (speaking and writing)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

協力隊員の努力、知識、技術をおおい、白人 technician に依頼するよりも、おおいの貢献が大きい、とタイ側は期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○(大卒) (B.Sc. in Agronomy in seed technology) ○(農学士)
とうもろこし又は他の食用作物の種子生産を専ら長年農業か、政府機関での経験者。
タイの田舎におおし生活することを積極的に希望する人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

103 園芸作物

HORTI

記入昭和 56 年 2 月 25 日

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PNG	(現地公用語) AGRICULTURE	(男) 1 人	訓練開始 56 年 10 月
	INSECT PESTS & CULTURE	(女) 1 人	派遣予定 57 年 2 月
	(日本語) 園芸 園芸	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): LIAISON WITH DEPARTMENT OF ENVIRONMENT AND CONSERVATION

(日本語): 環境保護局関連機関

2. 隊員勤務先名称: WAN ECOLOGY INSTITUTE 日本語名称 (ワウ生態研究所)

所在地: P.O. BOX 17, WAN TEL: 44-6341 主要都市からの距離 (ワウより 200 キロ)

3. 事業規模及び内容:

ワウ生態研究所は、PNG の動植物相および生態学研究所の
 ほか、この地域の保存と教育目的に寄与する目的に設立された組織である。

4. 設備概要: 同研究所には 1 棟の建物がある。2 つの研究所には、簡素な研究設備

並に、図書館、脊椎動物と昆虫用の飼育ケージ、脊椎動物、昆虫、植物の固定標本用

(2) 隊員の業務内容:

PNG の動物相、植物相は極めて豊富であるが、それ十分に
 知られていない。この保存と環境教育のために同研究所では
 シンガポール等の農業、林業、公衆衛生に寄与することを
 意図し、地元の生態系における生態学を理解し、その
 観光のこの地方動植物の研究も含まれている。

隊員は同研究所に於いて、研究員として、病虫の生態と、園芸
~~の~~の普及にある (英語 blue shirt は 養蜂も含まれている)
 として上記 2 職種)

① ② ③ については、研究員として、プロジェクトの指導的任務に
 関与、普及活動 デモストレーションに従事する。教室の
 ために教鞭をとることがある。

勤務は月一食 AM 7:45 ~ PM 4:06

ワウは 10 名で、うち 3 名の現地人がいる。現地人は何れも
 専門課程終了者。このとき共同の任務に当たる。

US の学生 - 3 人 いる。言語は英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同研究所は PNG 大学、江工科大学の外部機関に
 準政府機関である。教育、研究、普及、デモストレーションを
 して、日本の技術に期待に要請されるもの

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学で専攻し、英語が読 2-3 年と要す

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

Shenbo

10302 野 菜

記入昭和 56 年 4 月 2 日

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Mayor, San Andres, Romblon (Tallao)
(日本語): サンアンドレス町庁

ロ. 隊員勤務先名称: Jumcarlo Farms 日本語名称 (ジュンカルロ農場)
所在地: Jumcarlo Heights, San Andres, Romblon 主要都市からの距離 47km より 54 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 元来、この農場は、サンアンドレス町庁の個人農場であり、地域農民のみに、この農場内に、サンアンドレス町庁訓練センターを設立し、地域農民の技術的向上を図ることを目的とする。

ニ. 設備概要: 鉄、鉄、木、コンクリート、噴霧器等、簡単な農具。
農民訓練センターは、3 教室と畑地 1 棟が完備している。

(2) 隊員の業務内容: この農場は面積 250ha を有し、海拔 450m ほどに位置し、全体として起伏に豊かだが、排水にも水がたまりやすいところがある。野菜に関しては、現在では、栽培技術は無いが、高度な水管理の関連から、野菜栽培が可能である。

1. 隊員の業務上の地位: フィールドアドバイザー
2. 技術の範囲: 野菜栽培の指導、食用作物栽培、可能であれば稲作技術の指導も行う。更に農場のマネージャーの一部も担当する。
3. 業務の中心: 農民訓練センターにおける 27 名の方を中心とした、協力者を含めた実践的栽培活動、フィールドワーク活動を中心とする。
4. 対象者及び中心人物: 対象者は地域農民、協力者は現地の有識者及び農業者、技術者。
5. 現地で利用可能な材料: 上記の通り。
6. 第三国への派遣: なし。
7. 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

協力隊員による地域農民の技術的向上が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 農業高校卒業以上で、実務経験が有利と見做される。
2. 可能であれば農業者としての経験がある。
3. 土地の状況に関する知識があることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月11日

10302 野 菜

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mambusao Agricultural and Technical College
(日本語): マンブサオ農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()

所在地: Mambusao, Capiz 主要都市からの距離 (キロより) 50キロ

ハ. 事業規模及び内容: 4年制の農業科、農業教育科、家政科及び修士コースを有する農科大学で、ほかに2年制の農業技術者コースと農林業コース、また4年制の高校が併存している。学生数1600人、教員数71人。

ニ. 設備概要: 農地を合算した大学農地120ha、その内園芸用圃場9ha、その他大学の所有地約300ha(山林未開地) 大型1317-1台、小型1317-2台。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は園芸部門の教室をカリ24-18-1として学生に野菜栽培の実際実習指導を行いつつ、採種部門の拡充に力を注いでいることから、この部門の運営管理を中心に実施することになった。

1. 隊員の業務上の地位: 園芸部門のテクニカルアドバイザー
2. 技術の範囲: 野菜栽培の一般的知識及び技術並びに採種の基本的知識
3. 業務の所望: 上記の他に必要に応じて講義をもつてほしい。
4. カリ24-18-1等: 教室で大半、経験数年
5. 現地で利用する材料: 現地栽培具、噴霧器
6. 本邦国人等: なし
7. 使用言語: 他二語、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 千葉和平隊員(59名)の査察申請
現在の農科大学は近々1971年に国立大学に昇格する予定になっており、これに伴う施設の拡充を行っている。各部門の現場運営にあたる人材が不足しており、協力隊にその補填役を求めたいと考えている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
① 大卒者
② 経験者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 16 日

10302 野 菜

調査者氏名 新 佐 昭 浩

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Bontoc National Agricultural & Fishery School*
 (日本語): *ボントック国立農水産校*

ロ. 隊員勤務先名称: *同上* 日本語名称 ()

所在地: *Bontoc, Southern Leyte* 主要都市からの距離 () キロ

ハ. 事業規模及び内容:
 農水産学校に勤務. 文に書いている通り, この種の学校は少なくて
 USAID と AFAC の JSP-27 に F2 野菜種子生産と同様に行う様には
 二. 設備概要: 72.2. 従ってトランスクーラーは必ず必要最少限の農機具類は
 あり 初期の隊員活動に不自由は無いであろうと思われた。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: *学校に於ける教官*

技術の範囲: *野菜種子生産の指導*

業務の形態: *学校での指導, Vegetable Seed production Program の管理*

対象者及びカウンスラーの技術水準: *学生及び市民; 高校生 大学生を対象に指導. カウンスラーは
 1) 隊員赴任時に T4 にさせ. 又必要の Farm Aid
 を採用する。*

現地の利用出来る機械: *スワロー, ハンドトランスクーラー等*

現場に於ける日本人及び日本軍内家の配置状況: *なし*

使用する現語: *英語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *新規*

フィリピンに於ける野菜種子は F2 等を輸入するに比べて高価で
 高く. 又必要の時に入手し難い. このため生産量には問題があること
 と. 4) 品質は比較的高い. 地元の種子生産を奨励してその一環
 として同様に於ける種子生産を試みることにあり 隊員への期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農水産大卒者, 野菜の種子生産の指導に必要の技術を有する者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 20日

10302 野 菜

調査者氏名 堀内清美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Agricultural Adviser	(男) 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Federal Land Consolidation and Rehabilitation Authority
(日本語): 連邦土地統合再生公団 (FELCRA) Kelantan

ロ. 隊員勤務先名称: 1) Projek In-Situ FELCRA, Teratak Batu, 日本語名称 ()
所在地: 2) " ulu Berang, 主要都市からの距離 () より キロ

ハ. 事業規模及び内容: Trengganu

FELCRAは 各地の農地の格差を埋め合わせる 既存の農村開発 (行方) 公団の In-Situ Projects
は 代表的な project として 農村の物理、社会、経済環境の総合的向上を目指す

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 業務上の地位 - 農業指導者
- ・ 業務内容 - ① 村人の増収のための 複合的野菜栽培の指導にあたる。自分も履行。圃場をつくり、適切な肥料・農具の栽培法に始まり、市場の設置、開拓等 販売まで指導し、村民に経営ノウハウを伝える。
- ・ 隊員は Project Managerに 報告書を提出するべく 1週間 Project Managerに 隊員の カウンタートアップも 両者は 2週間の 共同作業を 1週間 あるいは 1週間 必要である。
- ・ 場所は クランタ州と トレングガヌ州
- ・ 所属国 - マレー
- ・ 使用言語 - マレー語 (1週間 あるいは 1週間 必要である)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシアは 中近東と 比較するより 70年代 農村部において、多くの 都市部との格差が大き。政府は 20年 改善プログラム 策定し 推進している。FELCRAは 代表的なもので、In-Situ Development Projects において 隊員を 求められている。農業を 中心に 農村の 経済的向上、自信と 勤労 態度を 村民に 伝えることが 目的である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてO印で囲むこと):

- ・ 大学農学部 (とくに 熱帯農業 - 短期作物) 卒 以上の 農業知識を 有する
- ・ 上記と同程度の 実務経験がある

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 54 年 5 月 28 日

調査者氏名 草野忠行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マレーシア	(現地公用語) Tanam Sayur	(男) 4 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Lembaga Kemajuan Tanah Persekutuan (Felda)
(日本語): 土地開発公団

ロ. 隊員勤務先名称: Felda 入植地 日本語名称 ()
所在地: 未定 (隊員派遣が決まれば) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Felda の 1 つの入植地面積 約 4000 ~ 5000 ไร่、入植家族数 400 家族 からの入植地と全土に 約 2624 箇所あり 他にも 500 ไร่の栽培、生産に 取り組んでいる。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

・ 入植者の家と巡回訪問し、庭先や近くの空地に自家消費用野菜を栽培 できるよう指導する事が 要請されている。

・ Felda は 野菜栽培隊員 専属の 6 ไร่ - 10 ไร่ (野菜栽培普及区) を 設置した ところ であり、これに 対応して 野菜栽培技術の 指導 すると共に、 10 ไร่ 普及 指導 を行っている。

・ 入植者の主な仕事は ไร่ ไร่ や 公園の 管理 であり、自家菜園の 管理は 主な仕事の 終了 後 余暇の 時間 であり、巡回 指導は 午後 4 時 00 分 過ぎ から 始まる。 1 時から 午後の 間は、展示園の 管理 について される。

・ ナス、キュウリ、トマト、スイカ、オカベン、ナツメ、葉巻、アワビ、トビロシ、パイン、 落花生 などが 植えられている。

・ 使用言語 ⇒ ~~マレー語~~、マレー語。 機材 ⇒ 作業衣 24 着の 携行 が良い。 (レポートが 書ける 方がいい こと)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

入植者が 自家菜園 による 野菜を 自給 すること による 現金支出を 防ぎたい こと から、これを 11 名の 隊員が 派遣 される。 (現在 6 名が 活動中) 過去の 前任 隊員の 実績 が 高く 評価 され 今回 の 要請 となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業 大学 卒業 (高卒 中 農業 学校 卒 野菜栽培の 経験) (2 年以上の 野菜栽培の 経験 (実務 経験) と 有 効 書)

(草野 (90%) 経験 豊富)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 12 月 22 日

10302 野 菜

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Breeding	(男) 1人	訓練開始 55年4,6月
	(日本語) 園芸作物	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年8~10月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre
(日本語): 柑橘・野菜種子研究センター

ロ. 隊員勤務先名称: Rangpur, Ishurdi Sub-Centre 日本語名称 (ロソプル, イシュルディ)
所在地: Rangpur, Mahigonji, Ishurdi 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Rangpurは現在BARI (Bangladesh Agricultural Research Institute) の棉花試験地として使用しているが近々野菜種子研究センター専用とする。圃場35エーカー。Ishurdiも野菜種子センターとして未整備。

ニ. 設備概要: 耕耘機, ポンプ, 事務所, 宿泊施設なし。

(2) 隊員の業務内容:

(1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究官の中間程度

(2) 技術の範囲: 野菜の試作, 外国導入種・現地在来種より商品種の選抜, 育成, 採種が主な業務となる。キャベツ, ブロッコリ, カラフラワー, カイラン, マスタード, 大根, カンコン, 豆類, スイートコーン等。

(3) 業務の形態: 主センターの指示に基づき上記業務を研究官と共に行う。普及業務はない。

(4) カリキュラムの技術水準: 主任研究官は大卒(修士)後経験5~8年, 研究官は3~5年。

(5) 現地で利用できる機材: 現在未整備な事も日本の機材がくる予定。

(6) 取場における専門家: サブセンターにはいないが, 主センターにJICA専門家及び調整員4名(リーダー1, 果樹1, 野菜1, 調整員1)がいる。野菜, 果樹専門家は協力隊OB。技術的アドバイス, 協議は出来る。

(7) 使用言語: ベンガル語 オフィスは英語可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜普及のネットワークは種子生産にあり, CVSRCは種子・柑橘研究所としてJICA協力に基づき設置された。在来種の種子改良, 選抜はセンターのみならず, 各サブセンターの気候条件等にあつた種子研究をする必要があり, 各サブセンターの技術面を隊員に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒。試験研究の知識あることが望ましいが, 当初はサブセンター開設業務が主となるため, 明朗, 若く強健であれば可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Vegetable Seedling	(男) 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 10302 野菜	(女) *1人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Women's Programme, Integrated Development Programme (IRDP)

(日本語): 総合農村開発計画 婦人プログラム

ロ. 隊員勤務先名称: Jhikangacha Bui Shasha Rural

日本語名称 (農村婦人組合)

所在地: Women's Co-operative

主要都市からの距離 22 マイル

ハ. 事業規模及び内容: IRDP 婦人プログラムは 1974 年よりスタートしているが

実績、規模も小さく、回教国の婦人の社会的地位の向上を目指し、2次5年計画により婦人の経済的生産活動に従事するための指導が取上げられている。

ニ. 設備概要: 全国に 190 の婦人組合があり、ジャルガヤは 13 村 約 1,500 名、ジャヤは 18 村 600 人程のメンバーがいる。

(2) 隊員の業務内容: 婦人プログラムは、家族計画の推進の他、農協での家政講習会や飼育、養鶏、家庭菜園、手工芸、車竹工芸への貸付等を実施してきた。今回の野菜は、夫が稲作に出ている間、家庭用菜園促進の他、周囲で出来る上での全般について指導して欲しいとの要請である。併せて野菜種子の生産も行われ商業ベースにのせたいとの意向があるが、農業は暗い人たちの企画であり、あまり深く考へる必要はないと思われる。

1) 隊員の業務上の地位: 婦人組合の助言者

2) 技術の範囲: 野菜の栽培技術がある他、生活改良普及員的に幅広く一語に考へて工夫できる人。

3) 業務の形態: 組合員の 11 村の巡回指導。

4) 対象者およびターゲット: 農村女性が対象であるが、社会に支障の場合が多くほとんど文盲の人たちである。

5) 現地で利用できる機材: プロジェクターとテープレコーダー程度。

6) 取場における外国人等: 中央にアハサヒと西独婦人。

7) 使用する言語: バンガル語

8) その他: モスリの農村社会に外人女性が住むには 11303 年困難な伴あり。相応の賃格が必要。2人ずつペアと考へる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 婦人プログラムの責任者は昔、日本人専科家の婦人に接し、何とやらをこも見ており、帰国を移期待をしている。しかしながら、各技術について素人であるため、企画もパイプの域を越すものも少なく、隊員によって実体づくりが迫られる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部卒、初の JOCV 女性隊員として、閉鎖的農村社会に住むことに挑戦しようという心構えのある人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 4 月 17 日

10302 野 菜

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) 3 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 1982 年 4 月
	10303 野菜	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)
(日本語): 農林省農業管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (農業普及員養成所)
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関。現在全国に12カ所が完成しており、内4カ所に隊員が配属されている。

ニ. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、トラクター等整備されている。

(2) 隊員の業務内容: 現在は2年制(近く3年制移行予定)の農業普及員養成所で、農学I、II、農業機械等8教科あり。隊員は主に農学IIの野菜を担当し、実習指導にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官

2. 技術の範囲: 野菜栽培が可能なこと。トマツ、西ヒ、トス、カンコン等。

3. 業務の形態: 農場による実習指導を主とし、語学の不自由がたかたは教室での講義、試験等にあたる。

4. 対象者およびカウンターパート: 生徒は18~20歳で初めて農業を学ぶ。カウンターパートは教官であるが大卒3年位が多く、理論に詳しいが実務経験に乏しい。

5. 現地で利用できる機械: 上記設備

6. 農場におけるオラ3国人等: JOCD隊員和作、農業機械が他AETIに11る。

7. 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語。校長、教官等とは英語も必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和48年以来5代に渡り2カ所に配属されていたが、第2次5カ年計画による新設により、各AETIに配属に欲しい旨の要請を行ったものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒業以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 55 年 9 月 9 日

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) HORTICULTURE	(男) 6 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期間 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE

(日本語): 農業者

ロ. 隊員勤務先名称: DISTRICT AGRICULTURAL OFFICE 日本語名称 (果農業者事務所)

所在地: 各県庁 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 果物の農業と主管する事務所であるが、日本の中・小都市の農業主管課程度のもの。

ニ. 設備概要: 事務所と附属の試験場の設備がある場合が多い。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 技術普及員

2. 技術の範囲: 野菜栽培全般。場合によっては果樹栽培が含まれる

3. 業務の形態: 普及活動及び展示菜園の管理。

4. 対象者について: 農民が対象であるが、センターとしての存在としてケニア人普及員の子供作業員がいる。

5. 利用する教材: ない。

6. 外国人との関係: 平和部隊(米軍)等と協力して仕事をする場合もある。他にドクター、農作家が居住する家もあり。

7. 使用する言語: 英語・スワヒリ語

8. 交替かどうか: 一般交替要員と行なわれるが、場合により新しい果に配属した可能性もある。

交替の場合。

森正志(53.2.前)、黒田謙吉(54.2)の交替がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアは農業国であり、第4次5年計画で教育と共に農業の振興に重点がおかれている。特に最近の海外へ輸出用の高級野菜の栽培技術の向上が目指されており、日本の協力隊の活躍が大いに期待されている次第。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大又は大学卒。或は果の農業技術研修生でなければならない。但し(年令は22才以上)で若干の実地経験があることが望ましい。(卒業免許)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 7日

ザンビア

10302 野菜

調査者氏名 奈良輪瞳美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Instructor of Vegetable Growing	(男) 1人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 野菜栽培指導員	(女) 1人	派遣予定 56年 8月
		(どちらでも可) 1人	受入期限56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development

(日本語): 農業・水資源開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Zambia Center for Horticultural Training 日本語名称 (ザンビア園芸訓練センター)

所在地: P.O. Box 525 Kalulushi-Kitwe 主要都市からの距離 (Kitweより 22キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当事業所は1962~1966年にかけて Kafue川一帯を基盤とする多目的な農業調査プラン「ファラ灌漑プロジェクト」の一環として設立された。その後FAOの資金技術援助のもとに5年間契約で運営された後、1975年当国政府に移管され、野菜栽培、果樹栽培、灌漑の3部門を有する「ザンビア園芸訓練センター」として今日に至っている。敷地70ha (灌漑地38ha、未灌漑地32ha。うち実際に耕地化されているのは7haのみである。) 年間平均雨量1300mm程度、カピシ

より南西14km、Kitweの田より22kmに位置し、校長以下6名のスタッフ、5名の技術者、2名の農業アシスタント、52名のworkerがいる。他にFAOよりChief技術顧問(イギリス人)灌漑専門家(ノルウェー人)各1名がいる。1981年度予算は50万7千7百円(1億5千万円)

ニ. 設備概要: 教室、宿泊施設、図書館、食堂、発電機室、倉庫、水揚ポンプ(8に1台、2台)、農機具修理工場、養鶏場、貯水槽(5万m³)、スプリンクラー、事務所、他に各種訓練用試験場を有している。(添付写真参照)

(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位: Vegetable Growing Instructor (野菜栽培指導員)

② 技術の範囲: 野菜栽培の実地指導も行うことながら、学料においても、農作物生産学、肥料及び堆肥、雑草除去、病虫害駆除、種子、作物生産管理のシステム化、市場問題といった、かなり高度な内容に及ぶ専門的知識にも精通していること。③ 業務の形態: 各州農業委員により選ばれた生徒に対してザンビアの実情に最も適する

プランを立てカリキュラムを組み短期コースを設立し、講義と実習を兼ねて指導を行う。④ 対象者及びカウンターの技術水準: 既にSecondary Schoolを卒業し(学力は低い)、各地で農業に従事した経験をもつ者のうち、各州毎の農業委員により選ばれた18名前後が指導の対象となる。彼らの水準は低い。カウンターは2名。現在のところ正しい技術、新しい知識を教える者がいないので水準は低く、彼らを育てあげることも重要な業務の一つとなる。⑤ 利用できる機材: トラクターその他必要最低限度の農機具は一応揃っている。⑥ 外国人: 現在のところなし ⑦ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: FAO援助のもとに立派な設備を持つ当訓練センターが栽培インストラクターのいないまま、低迷しつつ今日に至った。国の農業政策と相まって、こうした設備・機具をフルに活用し、土壌、水、品種(子種)等、野菜栽培の基礎学問を通じた実地・応用面での指導を強く望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ① 農業系大学卒で野菜栽培専攻 ② 現場経験5年以上 ③ 単身免許 ④ 英語堪能 (5) てくれは教授経験者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 20日

10302 野 菜

調査者氏名 大田 勝

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ共和国	(現地公用語) Horticultura	(男) / 人	訓練開始昭和 56年 10月
	(日本語) 園芸(野菜が主)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 // 57年 2月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia

(日本語): 農牧省

ロ. 隊員勤務先名称: Sistemas de Cultivo y Mecanización

日本語名称 農業調査研究部 栽培機械課

所在地: Investigaciones Agrícolas

主要都市からの距離 (より 0 キロ)

Tilaran Guanacaste

ハ. 事業規模及び内容: 野菜上の地位、教師、野菜・果樹・畜産研究栽培

予算は臨時給であり、研究開発費 100万~200万円程度

ニ. 設備概要: 研究農場 1ha (有効面積 6000M²), 倉庫 (建設予定)

回輪駆動 1台、草車 1台

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位 教師

② 技術の範囲 野菜・果樹全般の知識から水かきからトラクターまで扱った

③ 業務の形態 農家を巡回し栽培調査を行おう他農場にて試験栽培

④ 対象者及びカウティング-10-1の技術水準・年齢及び年令

農家、カウティング-10-1 あり、
AW 地域住民

⑤ 現地で利用される機材 自働車 1台、草車 1台

⑥ 稼働に於ける中3国人 あり

⑦ 使用対言語 スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

AWにおいて水汲した農家の移転。彼等は小農家に転落したため、商品性の高い野菜普及効果を大きい効め。又、和種 AW 在来種の栽培を 3ヶ年経済的に優れていると認め、農家に野菜・果樹・畜産、等商品作物の重要性を認識させ

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 短大卒以上 (東北卒令以上短大可)
- 経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年3月18日

10302 野 菜

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Small Crops & Vegetable	(女) 人	派遣予定 57年 / 月
	(日本語) 野菜栽培	(どちらでも可) 人	受入期限57年1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Education Department

1. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Avele College

日本語名称 (国立アヴェレ高等学校)

所在地: Avele, Apia

主要都市からの距離 (アピヤより10キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 西サモアには、SSS校 (Government Senior Secondary School) と呼ばれる最高学府が、三校あり。同校は二つの一校である。生徒数439名、教員数21名。学年は Form 3, 4, 5 Lower, 5 Upper, 6 に分けられ、英語、数学、サモア語、生物、科学

ニ. 設備概要: 化学、物理、地理、社会科学等のクラスを有する。1959年、農業高校として設立した。伝統的に男子校であり、女生徒はいない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教官 (Instructor, Field Officer)

② 技術の範囲: Form 3 ~ Form 6 (年令的には高一 ~ 高三) までの生徒を対象に一般野菜 (葉菜、根菜、果菜) に関するフィールドでの栽培指導を行う。クラスでの授業はない。

③ 業務の形態: フィールドの実習指導。

④ 対象者: 年令13才 ~ 19才位までの生徒約450名。男子7-10才については、生徒の中から選抜可能。

⑤ 職場の国籍: ニュージーランド、アメリカ、インド人教員計7名。

⑥ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: (同校は) 農業実習に専念を置いた高等学校として設立したが、現在では、他のSSS校同様、ニュージーランドの大学入試を目指せる学校として行っている。結果、農業実習が疎かになり、耕地は荒地のまま放置されているので、隊員には、野菜栽培に関する一切の権限と責任を負わなければならないことになるだろう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒。経験1~2年

家庭が農家でない場合は最優先。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 56 年 2 月 12 日

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィジー	(現地公用語) Small Crops & Vegetable	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培	(女) 人	派遣予定 1957 年 / 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 / 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Education Department

イ. 配属先名称 (現地公用語):
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Vaipouli College 日本語名称 (国立ババ付ウリ高等学校)
所在地: Vaipouli, Fagamalo, Savaii 主要都市からの距離 (ババ付より 60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同校は S.S.S 校 (Government Senior Secondary School) として知られる
うちの一枚であり、サバ島では唯一の国立高校である。
キャンパス面積 284 エーカー、生徒数 186 名、教師数 14 名。学年は Form 3, 4, 5 Lower, 5 Upper
ニ. 設備概要: 1 に分れており、英語、数学、サバ語、生物、科学、地理、社会科学、美術、木工、
家政等のクラスがある。現在、農業関係のクラスは設置されていない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教官 (Instructor, Field Officer)

② 技術の範囲: Form 3 ~ Form 5 Upper (年令的には高1~高3) までの生徒を対象に、
一般野菜 (葉菜、根菜、果菜) についてのフィールドでの栽培指導を行う。
クラスでの授業はない。従って、"農学一般" の隊員との連携が求められる。
併せて、家畜飼育 (畜牛、乳牛、ブタ、家禽 → 主に鶏) の指導も要請されている。
この方面での経験があれば、なお良い。

③ 業務の形態: フィールドでの実習指導。

④ 対象者: 年令 13 才 ~ 19 才位までの生徒約 180 名。女子学生。
カレッジ・レベルについては、生徒のなかから選抜可能。

⑤ 職場でのオラオ人: ニージーランド、米國教師各 1 名

⑥ 任用の言語: 英語、場合によりサバ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

学問的に裏付けされた F-2 の養成。
行政官の

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと):

大学卒、経験 1 ~ 2 年

家畜が豊富で、家畜飼育 (特にブタ、ブタ、牛) の経験があれば最適。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 2 月 12 日

10302 野 菜

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Agricultural Science & Research	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農学一般	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 昭和 57 年 1 月 受入期限 57 年 1 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Education Department
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Vaipouli College 日本語名称 (国立ババポウリ高等学校)
所在地: Vaipouli, Fagamalo, Savaii 主要都市からの距離 (ババポウリより 60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同校は S.S.S 校 (Government Senior Secondary School) として平均年 150 校あり、サモア島では唯一の国立高校である。

キャンパス面積 284 エーカー、生徒数 186 名、教師数 14 名。学年は Form 3, 4, 5 Lower, 5 Upper

ニ. 設備概要: に分けてあり、英語、数学、サモア語、生物、科学、地理、社会科学、美術、木工、家政等のクラスがある。現在、農学関連のクラスは設置されていない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教師 (Teacher)

② 技術の範囲: Form 3 ~ Form 5 upper (年令的には高1~高3にあたる) までの生徒を対象に農学一般に関する講義を週に 1 回実施。フィールドでの各種野菜栽培実習指導等を行う。このクラスは階級着任と同時に開設される予定である。この面の業務も向かわれることになる。

③ 業務の形態: 教室及びフィールド (日本の SA 無償協力建設予定) での授業が中心となるが、フィールドでの栽培実習指導も行う。45 分授業で、7:45 ~ 13:15 まで。土曜日は休日。

④ 対象者: 年令 13 才 ~ 19 才位までの生徒約 180 名。2/3 が女子学生。平均 17-18 歳。

⑤ 職場での外国人: ニュージーランド、米國教師各 1 名。

⑥ 使用する言語: 英語。場合によりサモア語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

① 学術的に裏付けされた F.P.T への養成。

(F.P.T に行政官)

② 南太平洋大学農学部への入学資格を得るための力を付けさせること。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学卒 (農学科)

○ 英語で授業ができること。

大学院の研究を本邦で実施。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 17日

10303 果 樹

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 1981年 10月
	(日本語) 10302 果樹	(女) 人	派遣予定 1982年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Citrus and Vegetable Seed Research Centre (CVRC)
(日本語): 柑橘野菜種子センター

ロ. 隊員勤務先名称: Pahartoly Farm 日本語名称 (ハフアトリー サブセンター)
所在地: Pahartoly Farm, Chittagong 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 柑橘類を主とした 15ヘクタールの柑橘研究所

ニ. 設備概要: 事務所 職員宿舎 水道設備 給電設備 電話あり

(2) 隊員の業務内容: CVRCは農業研究所 (Bangladesh Agricultural Research Institute)

の一部門として国際協力事業団 (JICA) と提携し設置され、センターには専ら日本人専任者がいる。4カ所のサブセンターがあり、園芸、果樹となっており、それぞれに隊員が入り、センターと協力して研究、調査することになる。他のサブセンターは現在建設中。

1) 隊員の業務上の地位: 主任研究官と研究官の仲間。
2) 技術の範囲: 果樹類の肥培管理、接木、葉接技術の指導が中心になるが、当初は栽培と平行に建設作業等サブセンター開設業務もある。レモン、ストロベリー、マンゴ、オレンジ、ライム類の他にココヤシ、ジャックフルーツ、香料等。

3) 業務の形態: 主としてサブセンターの指示に基づき上記業務を研究官と共に行う。
4) カリキュラムの技術水準: 主任研究官は大卒(修士)後経験5~8年。研究官は3~5年。

5) 現地で利用できる材料: 現在未整備な純日本の材料はくる予定。
6) 取場における外国人: サブセンターには11名だが、主としてJICA専任者等4名がいる。
7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員はサブセンターの地域特性を考慮した試験場としての基礎整備ならぬに試験研究の進行に寄与することを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業系短大卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

103園芸作物 (果樹)

記入昭和 54年 3月 21日

10303 果 樹

調査者氏名

山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Citrus Cultivation	(男) 7人	訓練開始 54年8月16日
	(日本語) 柑橘類栽培	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年2月4日 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Food, Agriculture & Irrigation			
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture (日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局			
ロ. 隊員勤務先名称: Eastern Development Regional Directorate (日本語名称 (東部開発農業支局)) 所在地: ダンクワ 主要都市からの距離 (より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: National Citrus Development Programme (ネパール柑橘類開発計画)はダンクワを中心とする6地区(district)で実施される計画であるが、JOCV隊員の着任後、実際に開始される。			
ニ. 設備概要:			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 業務上の地位: 開発計画の中で柑橘類栽培専門技術者となる。			
2. 技術の範囲: 開発計画指定地区で地元農民(果樹園経営者)を対象に栽培の基礎技術から、経営まで			
3. 業務の形態: 全般にわたって指導する。また現場での記録を報告し、将来のデータ作りもする。具体的には、地元農民に、苗床、播種、育苗、施肥、灌水、敷わら、病虫害防除、摘果、剪定、追肥、つぎ木等一連について、また果樹園経営者にも、地取、整地、栽植、支柱、耕鋤、除草、施肥、灌水、敷わら、病虫害防除、整枝、剪定、等について指導する。			
4. 対象者カテゴリー: 各地区の Junior Technician or Junior Technical Assistant がつき、対象は J.T, J.T.A及び地元農民となる。 技術者として			
5. 機材: 特になし			
6. 外国人技術者: なし			
7. 使用言語: ネパール語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパールの丘陵地帯は気候条件がして柑橘類栽培の適地であり、そこで栽培される果樹のうち柑橘類の占める割合がかなり多い。地元農民は換金作物としての柑橘類の市場価値を認め、栽培に着手してきている。ネパール政府はこのような状況のもとに丘陵地での農業開発として柑橘類に重点を置く方針を打ち出したが、もと地元農民に技術的専門知識がないため計画通りの収穫には及んでいない。農民に一通りの技術を身につかせようにも、当国に柑橘類栽培を指導できるだけの農業技術者が不足していることが問題である。そこで、日本の先進技術を導入し、本計画を促進した			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): い という農業局の意向で、協力隊員が要請された農学系(果樹)卒、実務経験3年程度。実際に果樹園で柑橘類栽培をしている(した)経験の有る者が望ましい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105きのこ
105きのこ

記入昭和 54年 11月 21日
調査者氏名 渡辺直明
山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 55年4or6月
	(日本語)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年8or10月 受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 *Ministry of Food, Agriculture & Irrigation*

1. 配属先名称 (現地公用語): *Department of Agriculture.*
(日本語): 食糧農業灌漑省 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: *Division of Plant Pathology* (日本語名称 (植物病理課))
所在地: *Khumaltar, Lalitpur, Kathmandu* (主要都市からの距離 (カトマンズ)より 6キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 将来の *National Agriculture Research Center* に予定されており、現在同敷地内には次の各課がある。 *Entomology, Soil Science & Chemistry, Botany, Agronomy, Vegetable, Potato, Veterinary, Agricultural Machinery.*

ニ. 設備概要: 栽培に必要な菌の培養に関する器具は一通り揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 前任隊員のを引き継ぎ、同配属先においてキノコに関する栽培、研究、調査、普及等を行なう。

- ① 隊員の業務上の地位: *Gazetted III Class Officer (3等級任官)* 相当
- ② 技術の範囲 (a) 菌の純粋培養と種菌製造及び供給 (つくりたい、ふくらませ、かきたけ、たきいけ、なめこ、えのきたけ)
- ③ 業務の形態 (きくらげ etc.)
 - (b) カトマンズ盆地におけるシタケの栽培実行可能性調査
 - (c) ネパールの気象条件下における「ふくらませ」の栽培可能性調査
 - (d) なめこ、えのきたけ、たきいけの試験的栽培
 - (e) かきたけのつら栽培と短木栽培の営利栽培方法の研究
 - (f) ネパールにおけるキノコの在来種の調査、採集、分類及び保存 (本年度は実施していないが計画はある)
 - (g) ネパールにおけるキノコの目録作成
 - (h) つくりたいの経済的(営利)栽培方法の研究(採算面も含む) → ほぼ終了
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢: *Miss Banu Pandey (M.Sc Botany, Specialization in Plant Pathology, Vikram University, Ujjain, M.P. India. 経験13年, 1966~1979)*
Mr. Nara Hari Khadka (I.T. 農業一般につき経験12年)
- ⑤ 現地で利用できる機材: 写真集参照 (4532-28, 32-264号にて送付)
- ⑥ 取場におけるオス3個人、渡辺隊員(4532-55, 8)が協力活動を行っている。本要請は同隊員の交替である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ① 使用語言語: ネパール語、専門用語は英語、キノコ名は学名で知ってネパール国におけるキノコ栽培の基礎研究は1975年度から始めているが、近年農民も興味をもち、おおくことを示していることから、現金収入源として商品化するための技術のノウハウについて農民に対するキノコ栽培の普及、奨励を主目的としたデータ収集をめている。従ってこの種類のキノコが栽培方法も含め商品化に有利であるか更に調査、研究する必要ある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
業務の形態は研究型であり、技術の範囲は広範にわたるが、隊員の業務内容はシタケ栽培を主として他のキノコ栽培及び菌の培養、種菌製造が出来る者。従ってキノコ栽培、経験年数は2-3年、学歴は大学以上が望ましい。
〈渡辺直明隊員交替〉

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 きのこ

記入昭和 54 年 9 月 日

調査者氏名 阿部 裕子 松尾 邦義

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シエラレオン共和国	(現地公用語) マッシュルーム	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) (french) mushroom	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Agrarian Reform
(日本語): 農業 農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Directorate of Scientific Agricultural Research (中央農業試験場)
所在地: ドウマ (Douma) 主要都市からの距離 (約25km 20キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: — FAOが資金援助し、シエラレオンに "Mushroom production Specialist" とし協力する。
— 73年度 Somycel Co. から i) Mushroom 菌の育成 ii) 種菌の育成 iii) 技術情報 iv) マッシュルーム栽培の調査、等、今年度の70%の調査、マッシュルームの栽培者から短期間派遣される。
— 同試験場の試験場、種菌を培養する。土に種菌を植え付け育てる。
— 同試験場の food technology sectionに配属される。4-7の Mr. Omer は マッシュルームの栽培の経験者で、P44の一年留学経験者である。英語の調査も可能。
— 同人物の協力に3人技術者、実際にシエラレオンに種菌培養、生産販売の調査を行う。 (今年度、栽培者からは上記の菌の育成の調査、が今年度は、調査の調査を行う。) (今年度、栽培者からは上記の菌の育成の調査、が今年度は、調査の調査を行う。)
— 必要最小限の equipment はある。
— 言葉: 英語、P44

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 実務経験を3年以上 フランス語シエラレオン語
(4人 種菌の育成) 深く広い知識、実務経験と有する。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 6 日

115 土 壤 肥 料

調査者氏名 君波恒久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
HONDURAS	(現地公用語) MANEJO Y CONSERVACION DE SUELOS Y AGUA	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 土 壤 管 理	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年/月迄に現地到着のこと
(1) 配 属 先 CONSEJO SUPERIOR DE PLANIFICACION ECONOMICA			
イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO DE RECURSOS NATURALES			
(日本語): 天然資源省 農政総局 畜産部 支局			
ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION AGRICOLA REGIONAL CENTRAL OCCIDENTAL (DAR-CO)			
所在地: COMAYAGUA コマヤグワ 主要都市からの距離 (首都より 90キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: トウモロコシや 豆などの主食である。フリーホーレス 豆および野菜等の農業作物、土壌管理、ワシプワ = フトリ、養蜂など 農業畜産全般にわたる地方総合ステーションとして 農家および 農家への技術指導を中心に活動している。			
ニ. 設備概要: 建物自体はモルタルのかなりリッチなものである。しかし土壌管理について言えば 人員はいるが 知識が十分ではないため設備がどのくらいかという状態。今とる利用できるものは何も無い。			
(2) 隊員の業務内容: コマヤグワ地帯はポニデラス有数の農業地帯であるが、おとど略奪農業を基調に発達してきた農法のため、土壌管理に対する配慮知識が非常に欠けている。隊員は土壌管理室員に対する技術の伝達はもとより、室員とともに農家と暮らす普及活動も主要業務となる。			
① 隊員の業務上の地位: 土壌管理技師			
② 技術の範囲: 土壌成分の分析、畑の土壌と水の管理、灌水技術の他、講習会の準備、運営に熟知していることが望ましい。			
③ 業務の形態: 現場における技術指導			
④ 対象者及びカウチパートナーの技術水準・学歴のレベル: 農業大学を出た技術者が 1 名、農業高校を卒業した者 2 名、他 数名の室員がいるが、土壌管理に関する専門的な知識と人材は少ない。カウチパートナーとしては Jorge Flores という室員が行く予定である。			
⑤ 現地で利用可能な機材: 何も無い。隊員が到着した後、自らの判断で買って行くことになる。経済的には比較的おぼつかないと思う。			
⑥ 職場に於ける若手国人及び日本専門家の配置状況: 土壌管理室以外では米、コスタリカ、台湾の専門家、米平和部隊のメンバーがいる。			
⑦ 使用言語: スペイン語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 室員は当国が開発途上国であるために、勉強の機会にめぐまれず、自ら教科書を郵送し、みよみよねど研究しているが、これだけでは、やはり十分ではないと感じている。そこで今回の日本青年海外協力隊員の受入希望を促すために、土壌管理室員をはじめとして現地スタッフ、農民ともに隊員に寄せる期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
大学で、72歳は農務局長経験した者が望ましい。			
コマヤグワ周辺を広く動き回ることが多いと思われるので自動車の運転免許を有していること。			
農業全般に興味をもち、			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

120 農業 土木

記入昭和54年9月12日

調査者氏名 金城 光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Agricultural Engineer	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Drainage & Irrigation Dept. (DID)
(日本語): 農業省 灌漑排水局

ロ. 隊員勤務先名称: 州 DID 事務所 日本語名称 ()
所在地: 未定(隊員屋敷参照の上適地選定) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 州 DID は 左に本局の監督下にあり、州内の農業構造改善に關する諸プロジェクトの調査立案 調査施工監督、および既存水利施設の管理維持に係る業務を司る。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位:

DID 州事務所へ配属され 所長を補佐する。

1. 業務内容:

イ) 小規模灌漑プロジェクトの調査 立案

ロ) 建設施工監督

ハ) 水利施設の維持・管理

ニ) 入札用資料の作成

等が隊員に課せられる業務であり、隊員の経験・能力により担当業務の具体的内容が決める。

1. 現地で使用できる機材:

測量器具等一応完備。

1. 使用可能な言語:

マレー語履習が望ましい。但し技術者間には英語が多用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

第5次5年計画関連事業及び第4次計画のためのプロジェクト策定等に必要となる要員として DID 技術者の不足を補う。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 農業土木専攻 実務経験 2年以上

(Engineer という資格が必要なため大卒が望ましい)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 24日

120 農業土木

調査者氏名 山本 泉 記

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Agri Civil Engineer	(男) 1人	訓練開始 55年 10月 12日
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 56年 2月 4日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food, Agriculture & Irrigation, Dept. of Agriculture
(日本語): 食糧農業灌漑省 農業局
- ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Development Office, Ramechhap
日本語名称 (ラメックハプ) 7郡農業普及事務所
所在地: Ramechhap District, Tanakpur Zone 主要都市からの距離 (カトマンドゥより キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 山間地農民に対する生活向上を目的とした小規模かんがい技術の導入
- ② 山間地農民に対する治山治水事業の技術指導及び普及活動
- ③ かんがい技術を導入した展示圃場の設置及び現場指導
- ④ 地域農民レベルにおける共同事業精神の育成
- ⑤ 沼ナカール県農業開発計画の遂行
- ⑥ 地域農民との融和

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地 ADO (農業普及事務所長) は JOCV 隊員の活動を熟知しており、親しい関係者 (省局レベル) は当地の地域開発に JOCV 隊員を大きく期待し、指導者として派遣を請うている。過去に同地域で活動した隊員の実績が高く評価されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業土木を学び、独創的な考えかたができる人。
(学歴は大学である必要はない)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 22日

120 農 業 土 木

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ネパール	(現地公用語) Agri Civil Engineer	(男) 4人	訓練開始 56年 9月 12日
	(日本語) 農業土木	(女) 人	派遣予定 57年 10月 4日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Local Development*
(日本語): 地方開発省

ロ. 隊員勤務先名称: *Panchayat Development Training Center* 日本語名称 (パンチャセト開発訓練センター)
所在地: *Jhapa, Janakpur, Pokhara, Nepalganj* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 地方農村開発のため設置された訓練教育機関である。
ネパールに於ける農村指導者の為の短大と称する。

ニ. 設備概要: 教室, 訓練生宿舎, 資料室, 作業室, 圃場, 農業土木用器具

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 農業土木コースの Instructor (教官) とする
- ② 扱われる範囲: 約6ヶ月の農業土木コースで 40-50人位の訓練生を対象に
- ③ 業務の形態: 測量 小規模灌漑 (村道, 暗渠) について指導する。教室内と実習 (野外) の両方。
- ④ カウンタート: Overseer コースの者がカウンタートとして配置される予定。
対象者: 訓練生は20才以上の S.L.C. (10年教育修了者=高卒程度) 資格取得者であるか。一般的に数学の知識は低い。
- ⑤ 利用できる機材: 土木関係者身一括。実習時の不足分は地元の L.D.D. からの借りで済ませる。
- ⑥ 第三国人の配置: ネパール・パンチャセト訓練センターには JOCV 木島隊員が配属されている。
- ⑦ 使用言語: ネパール語 (専門用語は英語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパールの地方 (農村) 開発のために、各地域で、農業土木技術者の養成が急がれている。JOCV 隊員は過去にジャポラ, ポカラ, ネパールガンジで農業土木コースを担当し、その評価は高いものがある。今回は、全国的に各訓練センターへ JOCV 隊員が派遣されることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒 (農業土木専攻) 測量士補。

〈新規要請〉

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 7 月 2 日

120 農 業 土 木

調査者氏名 佐野 弘幸

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
エチオピア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57 年 2 月
	農業土木 (土木施工も可)	(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Agriculture Development Department of Ministry of Agriculture*
 (日本語): 農業省 農業開発局

ロ. 隊員勤務先名称: *Agroonomy section* 日本語名称 (農業課)

所在地: *Addis Ababa* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業省内の中心的な部門で、全国にわたる協同農場やインストラクション農場の統轄、指導を行なう。全国的な組織としては、エチオピア最大級のものである。協同農場は全国に100以上、インストラクション農場は無数。

ニ. 設備概要: アジスアババに本庁、全国各地に出張所がある。その他、農業試験場がいくつかある。

(2) 隊員の業務内容: 本庁の農業専門家等とチームを組んで、各地の協同農場やインストラクション農場の調査を行ない、主に農業用水に肉打アパリス、農場の地図作り、小規模な構造物の設計施工等。

- ① 隊員の業務上の地位
 外国からの専門家として扱われる。本庁の職員と同等である。
- ② 技術の範囲
 現在農業課には土木関係者はいないので、非常に幅広い知識が必要となるが、大規模なプロジェクトはないので、高度な知識は必要ない。また、地方には土木に肉打経験者はいないので、実務経験が必要である。
- ③ 業務の形態
 農業専門家とチームを組んで、地方の巡回が多い。地方では、測量や施工のアパリス等、本庁では、地方のデータ収集に設計等であるが、いずれも高度なものはない。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準 年令
 本庁においては皆大学卒業程度で、農業家としては高度な知識を持っているが、経験が不足している。地方では、農業高校卒業程度であるが、実際はもっと低いと思われる。尚、いずれの場合も土木関係者で、実際経験のある者は非常に少ない。
- ⑤ 現地で利用できる機械
 測量機械はそろっている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在、農業省には *Soil & Water Conservation Section* が土木関係の仕事をしているが、人員不足のため、独自のプロジェクトの仕事にまわっている。農業課としては、各地の農場の要請に答える為、どうして土木関係のエンジニアが必要となっている。各農場の正確な測量等を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

特に資格は規定していないが、地方での諸問題に臨機応変に対応していくためには、実務経験 4~5 年は必要であろう。学歴は、特に規定していない。又、地方出張が多いため、体力、精神力に自信のある者がよい。